

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年7月31日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ZOA

コード番号 3375 URL <http://www.zoa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 長嶋 豊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務本部長

(氏名) 伊井 一史

TEL 055-922-1975

四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	2,867	△2.2	19	△19.1	17	△21.6	9	△21.7
24年3月期第1四半期	2,932	6.0	23	4,122.5	22	5,965.2	11	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	449.07	—
24年3月期第1四半期	573.46	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	4,708	1,986	42.2	95,014.04
24年3月期	5,279	2,018	38.2	96,564.96

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 1,986百万円 24年3月期 2,018百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,110	3.1	10	△63.8	9	△67.8	2	△81.2	124.78
通期	13,000	3.0	80	14.9	78	0.2	42	32.9	2,015.97

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	22,965 株	24年3月期	22,965 株
25年3月期1Q	2,057 株	24年3月期	2,057 株
25年3月期1Q	20,908 株	24年3月期1Q	20,911 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第1四半期累計期間 .....	4
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	5
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、復興需要やエコカー補助金等の政策効果により一部の産業で持ち直しの動きがみられたものの、長引く円高水準の為替レートや欧州債務危機等の影響による景気低迷リスクが依然として存在しており、先行き不透明な状況で推移いたしました。

パソコン業界におきましては、近年の好調な販売に伴うパソコン市場の飽和や、Microsoft社より次期OSであるWindows8を今秋に発売することが発表されたことによる買い控え等の影響で厳しい状況となっております。その他、インターネットの価格比較サイトの利用者増加による価格競争も非常に激しくなっております。

バイク業界におきましては、国内出荷台数の増加が続いており、需要が高まっている状況です。

このような厳しい状況下で当社は、パソコン事業においては、好調な5万円以下のパソコン本体に加えて、普及の進むタブレットPCの品揃え強化や、超薄型軽量ノートパソコンのウルトラブックの新規展開等によりパソコン本体の販売強化に取り組んでまいりました。また、各種PB商品の導入や、各メーカーの商品を幅広く取り扱うことでネット通販にはない買い物を楽しむ店舗作りを推進して、ネット通販との差別化に取り組んでおります。しかし、組み立てパソコンの需要減退によるパーツ類やディスプレイの売上が減少しました。以上の結果、パソコン事業全体の売上高は前年同期比11.1%の減少となりました。

バイク事業においては、豊富な品揃えをアピールすることで集客の強化を図っております。特にヘルメットやジャケット等、お客様の要望する商品の取扱いアイテム数を増加したことで売上高は増加しております。以上の結果、バイク事業全体の売上高は前年同期比3.1%の増加となりました。

インターネット通信販売事業においては、売上高拡大への取り組みとして、お客様の利便性を向上すべく、掲載アイテム数の増加を図るとともに、即納体制や店舗との連携を強化した結果、売上高は前年同期比38.2%の増加となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績については、売上高2,867,703千円（前年同期比2.2%減）、経常利益17,723千円（前年同期比21.6%減）、四半期純利益9,389千円（前年同期比21.7%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ・資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末における総資産は、前期末に比べて570,766千円減少し、4,708,906千円となりました。その主たる要因は、現金及び預金が582,785千円、売掛金が183,730千円それぞれ減少し、商品が221,098千円増加したこと等によるものであります。

負債については、前期末に比べて538,340千円減少し、2,722,353千円となりました。その主たる要因は、買掛金が363,461千円、長期借入金が133,417千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産については、前期末に比べて32,426千円減少し、1,986,553千円となりました。この結果、当第1四半期会計期間末における自己資本比率は42.2%となりました。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想は、平成24年5月11日に公表いたしました「平成24年3月期 決算短信」に記載した業績予想から変更はございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ① 簡便な会計処理

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

#### ② 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社は法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,093,356	510,570
売掛金	452,297	268,566
商品	2,216,490	2,437,588
その他	139,060	125,894
貸倒引当金	△4,509	△2,671
流動資産合計	3,896,695	3,339,949
固定資産		
有形固定資産		
土地	654,403	654,403
その他(純額)	301,097	293,273
有形固定資産合計	955,500	947,677
無形固定資産		
14,454	14,454	14,150
投資その他の資産		
その他	414,901	409,007
貸倒引当金	△1,879	△1,879
投資その他の資産合計	413,022	407,128
固定資産合計	1,382,977	1,368,957
資産合計	5,279,673	4,708,906
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,156,428	792,966
1年内返済予定の長期借入金	546,864	545,364
未払法人税等	45,406	10,053
賞与引当金	39,382	16,000
ポイント引当金	16,355	15,743
その他	157,647	175,362
流動負債合計	1,962,083	1,555,490
固定負債		
長期借入金	1,185,821	1,052,404
長期未払金	24,249	24,249
退職給付引当金	88,538	90,209
固定負債合計	1,298,609	1,166,863
負債合計	3,260,693	2,722,353
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	331,986	331,986
資本剰余金	323,753	323,753
利益剰余金	1,505,896	1,473,470
自己株式	△142,655	△142,655
株主資本合計	2,018,980	1,986,553
純資産合計	2,018,980	1,986,553
負債純資産合計	5,279,673	4,708,906

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	2,932,815	2,867,703
売上原価	2,472,704	2,411,955
売上総利益	460,111	455,748
販売費及び一般管理費	436,299	436,475
営業利益	23,811	19,272
営業外収益		
受取手数料	3,264	2,978
その他	165	84
営業外収益合計	3,429	3,063
営業外費用		
支払利息	4,598	4,448
その他	35	163
営業外費用合計	4,634	4,611
経常利益	22,606	17,723
税引前四半期純利益	22,606	17,723
法人税等	10,614	8,334
四半期純利益	11,991	9,389

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。